

演 題 名	入所ご利用者における皮下出血、表皮剥離の撲滅					
施 設 名	介護老人保健施設 しおさい		発 表 者		福田 めぐみ（介護福祉士）	
活 動 の 種 類	質・安全・能率・CS・モラル・コスト		取 り 組 み 種 別		問 題 解 決 型 ・ 課 題 達 成 型	
改善しようとした問題 課 題	ご利用者の皮下出血、表皮剥離を撲滅する事					
改 善 の 指 標 と そ の 目 標 値	(指標)入所ご利用者の皮下出血、表皮剥離 (目標値)0件					
実 施 し た 対 策	①OTによる基本となるトランス方のビデオ撮影と講習実施 ②二人介助の義務付 ③保護クッション作成・取付④看護による勉強会実施					
改善指標の、対策 実施前後の変化	(実施前)入所ご利用者の皮下出血、表皮剥離 16ヶ所 (実施後)入所ご利用者の皮下出血、表皮剥離 3ヶ所					
参考にしたグループ内の過去事例	施設名： 熱川温泉病院 / 演題名： 病棟スタッフにおける表皮剥離に対する意識向上					
チ ャーム の 名 称	HIS(エイチアイエス)		リーダー名(職種)	福田 めぐみ（介護福祉士）		
			チ ャーム の 人 数	4	名	
活 動 状 況	平成25年6月～11月			平均会合時間	40	分
	会合回数	6	回	平均会合出席率	90	%

テーマ

入所ご利用者における 皮下出血、表皮剥離の撲滅

介護老人保健施設 しおさい
部 署：入所介護
チ ャーム名：HIS

【テーマ選定理由】

項目	施設理念	緊急度	重要度	取組み易さ	総合点	テーマ選定理由評価表
テーマ						○5点 △3点 ×1点
皮下出血、表皮剥離の撲滅	○	○	○	○	20	■■■■■
レクリエーションによる満足度向上	○	△	○	×	14	■■■■
自立者様における確実な口腔ケアの定着化	○	△	○	○	18	■■■■■
夜間における安眠の提供	○	△	○	×	14	■■■■

【テーマ選定理由】

介護に携わったことのない新人職員が増加
同時期に皮下出血、表皮剥離も増加傾向

早急な解決を要する重要な問題

↓

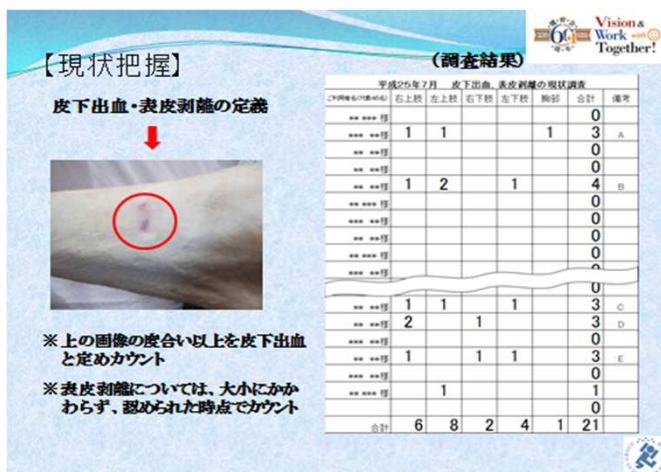
入所ご利用者における皮下出血・表皮剥離の撲滅

【現状把握】

調査対象:平成25年7月入所ご利用者 46名
調査内容:皮下出血、表皮剥離の発生状況

調査用紙(入浴時に調査)

調査結果集計表



【対策の立案】

要因項目	具体的対策の内容
①	OTに、対象となる5名のご利用者それぞれに対するトランス方法の指導を受け、職員全員がスキルアップできるようビデオ撮影、全員で見て実践し統一を図るとともに指導者に該当する介護職員については毎日、書面や口頭による申し送りを行い、現在の進捗状況を共有
②	
③	一部のご利用者に対しては二人介助を義務付け
④	アームレストに保護クッションを付けて対応
⑤	看護による高齢者の皮膚についてのミニレクチャー開催

【対策の実施】

OTに協力して頂き、対象となる5名のご利用者それぞれに最適なトランス方法を決定しビデオ撮影 その後講習開催



お体の大きなご利用者には2人介助を義務付け



保護クッション作成・取付

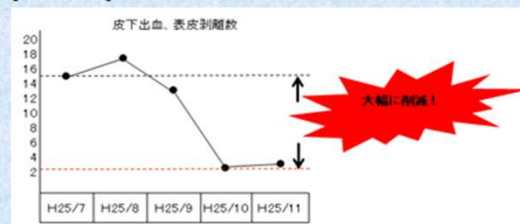


【対策の実施】

なぜ	何を	誰が	いつ	どこで	どうする
Why	What	Who	When	Where	How to
①	ご利用者それぞれに適したトランス方法	福田	9月	研修室	OTに依頼しトランス方法のビデオ撮影後、講習会を開催・指導者に該当する職員については現在の進捗状況を共有できるシステム作りと運用
②					
③	二人介助の義務付け	関	9月	会議室	OT、部門長と対象者を決定しミーティングにて決定事項を周知
④	保護クッション取り付け	石井	8月	ステーション	クッション作成し、OTと部門長の承認後、取り付け・運用
⑤	ミニレクチャー開催	佐藤	9月	ステーション	看護に研修依頼し、実施

【効果の確認】

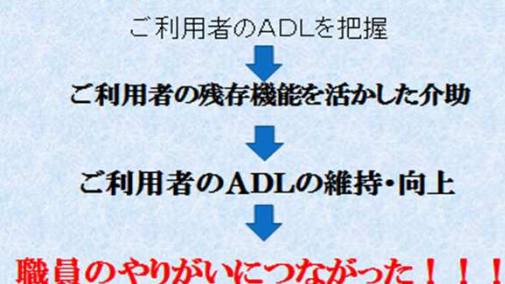
【有形効果】



対象となる5名のご利用者の16ヶ所の皮下出血、表皮剥離数を、3ヶ所に抑える事は出来たが、目標である0件には至らなかった

【効果の確認】

【無形効果①】



【効果の確認】

【無形効果②】

介護者は年齢、経年数を問わず同レベルの知識と技術が必要！

今回の活動で、この課題は十分に解決できることが分かった！！！！

しおさい理念の実現に向かって確実に前進できた

【標準化と管理の定着】

なぜ	何を	誰が	どこで	どのように	いつ
(目的)	(項目)	(担当)	(場所)	(方法)	(期間)
標準化	ADLの把握による適切な介助	居室担当	部署	ADL見直しとカンファレンスの実施	毎月
管理	皮膚状態の観察	看護	入浴時	目視	毎入浴日
教育	研修	教育委員	教育委員会	新人職員への研修	週1回

【反省と今後の進め方】

新人を含め介護職員への講習実施は勤務時間外になってしまった

今後はタイムスケジュールの変更をし講習やミーティングを勤務時間内に行えるよう調整・実践していく

